

西 脇 市 立 西 脇 病 院
経 営 強 化 プ ラ ン の 推 進 状 況
(令 和 6 年 度)

令 和 7 年 3 月 2 8 日

目 次

I 令和6年度1月末の収支状況

1	概況	P 3
2	収支状況	P 4
3	経営指標	P 5

II 強化プランの目標進捗状況（12月末）

1	基本事項	P 6
2	医療の質の向上	P 7 ~
3	経営資源の強化	P 11 ~
4	職員の確保と意欲向上	P 20 ~
5	再編・ネットワーク化	P 23

I 令和6年度1月末の収支状況

1 概況

1日当たり入院患者数は269.0人（前年度266.5人）、外来患者数は425.2人（同437.7人）となり、前年度より入院患者数は増加、外来患者数は減少した。

10月から非稼働の回復期リハビリ病床（24床）のうち4床を稼働させ患者確保に努めたが、診療報酬改定により看護基準が7対1から10対1に下がったこと、昨年度は新型コロナ空床補償補助金等（164百万円）があったことなどから収益は減少（△136百万円）した。

また、物価の高騰や人事院勧告に基づく大幅なベースアップ、加えて電子カルテ更新による減価償却費の増加等により費用が大きく増加（259百万円）した。

当年度1月末の純損益は、△695百万円の赤字となり、前年度より395百万円悪化した。

2 収 支 状 況

(単位:百万円)

区 分		R5年度 1月累計	R6年度 1月累計	対前年		
				増 減	比率 (%)	
収 益	総 収 益	6,852	6,716	△136	98.0	
	医 業 収 益	6,049	6,078	29	100.5	
	うち	入 院 収 益	4,316	4,382	66	101.5
		外 来 収 益	1,537	1,505	△32	97.9
		そ の 他	196	191	△5	97.4
	医 業 外 収 益	792	626	△166	79.0	
	特 別 利 益	11	12	1	109.1	
費 用	総 費 用	7,152	7,411	259	103.6	
	医 業 費 用	7,037	7,283	246	103.5	
	うち	職 員 給 与 費	3,781	3,844	63	101.7
		材 料 費	1,531	1,577	46	103.0
		経 費	1,160	1,181	21	101.8
		減 価 償 却 費	529	645	116	121.9
		そ の 他	36	36	0	100.0
	医 業 外 費 用	108	120	12	111.0	
特 別 損 失	7	8	1	114.3		
差 引	経 常 損 益	△304	△699	△395	230.0	
	純 損 益	△300	△695	△395	231.7	

3 経営指標

区 分			単位	R6年度 目標	R5年度 1月末実績	R6年度 1月末実績	対前年		評価
							増減	比率(%)	
業 務 量	患 者 数	1日当たり 入院患者数 (病床稼働率)	人	279.0	266.5	269.0	2.5	100.9	B
			%	87.2	83.3	84.1	0.8	—	
		1日当たり 外来患者数	人	470.0	437.7	425.2	△12.5	97.1	C
	診 療 単 価	入 院	円	55,000	52,924	53,233	309	100.6	B
		外 来	円	17,500	17,216	17,270	54	100.3	B
		入院・外来収益	億円	63.8	58.5	58.9	0.4	100.7	B
財 務 指 標	経常収支比率	%	95.3	95.7	90.5	△5.2	—	C	
	職員給与費比率	%	60.4	62.5	63.2	0.7	—	C	
	材料費比率	%	23.0	25.3	25.9	0.6	—	C	
	経費比率	%	22.3	19.2	19.4	0.2	—	B	

[評価方法 A:実績>目標・前年 B:目標>実績>前年 C:目標・前年>実績]

Ⅱ 経営強化プラン目標進捗状況

1 基本事項

(1) 今後果たすべき役割		
取組状況	<ul style="list-style-type: none">・ 地域医療支援病院の承認要件を維持・ 3.0テスラMRIの運用強化・ 新型コロナウイルス感染症対策の徹底及び陽性患者の入院受入れ・ 認定看護師資格の取得に向けた取組・ 臨床研修指導医資格の取得に向けた取組	自己評価
		B
(2) 一般会計繰出金		
取組状況	【一般会計繰出金（見込み）】 <ul style="list-style-type: none">・ 一般会計負担金 1,000百万円 ※総務省繰出基準内（5年度 1,000百万円） 内訳：収益的収入 622百万円、資本的収入 378百万円・ 一般会計補助金 内訳：収益的収入 250百万円（5年度 収益的収入 200百万円）	自己評価
		A
(3) 病院と地域の連携		
取組状況	<ul style="list-style-type: none">・ 地域医療検討会への参加・ 「西脇市の地域医療を守る条例」に対応した普及啓発の強化・ 医師会、薬剤師会、小児医療を守る会、地域医療を支える市民の会、商業連合会等との連携	自己評価
		A

2 医療の質の向上

(1) がん治療の医療体制の構築

主な取組目標	a. 県指定がん診療連携拠点病院の継続	取組状況	a. 令和7年度から「がん診療連携拠点病院に準ずる病院」として、引き続き、手術、化学療法、放射線治療等による集学的治療を継続していく。	自己評価
	b. がん相談支援センター機能の充実		b. 診断・告知から患者ニーズを把握し、院内職員の連携により早朝から積極的な相談支援を行っている。	
	c. 病診連携の強化		c. 内科医が地域の開業医からの診療相談等の電話を直接受ける「内科ホットライン」を運用し、病診連携の強化に努めている。	B
	d. 人間ドックのオプション検査等		d. 乳がん検診について、女性スタッフでの対応を継続し、受診の促進に努めている。	
	e. がん関連認定看護師等の育成		e. がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん化学療法看護認定看護師が中心となり、看護師の育成に取り組んでいる。	

主な実績	項目		R5年度実績	R6年度目標	R6年度(12月末)	R6年度見込	推進状況
	新入院がん患者数	(人)	920	1,100	835	1,114	A
放射線治療延患者数	(人)	1,688	2,000	1,041	1,388	C	
外来化学療法延患者数	(人)	1,467	1,600	1,026	1,329	C	
3がん(子宮、肺、乳)合計検診	(人)	1,328	1,420	1,065	1,270	C	
高度機器(CT,MRI,RI,マンモ)撮影件数	(件)	22,898	22,990	16,894	22,524	C	

2 医療の質の向上

(2) 脳卒中治療の病病、病診連携体制の構築

主な取組目標	a. クリニカルパスの効果的な運用	取組状況	a. クリニカルパスの効率的な運用のため、圏域内の連携病院を増やしていく。	自己評価
	b. 3.0テスラMRIの運用		b. 紹介患者、救急検査の受入に努めている。	
	c. 認定看護師の育成		c. 摂食・嚥下障害看護認定看護師を入院棟に配置し、NSTなどの活動を行っており、脳卒中リハビリ認定看護師を育成している。	B
	d. 緊急時の積極的な受け入れ		d. 開業医訪問、消防との症例検討会を実施し患者紹介、救急患者の積極的な受け入れを行っている。	

主な実績	項目		R5年度実績	R6年度目標	R6年度(12月末)	R6年度見込	推進状況
	パスによる紹介件数	(件)	60	60	45	60	A
	脳卒中(脳外科)入院件数	(件)	310	400	234	312	B
	脳血管治療件数	(件)	100	150	66	88	C

2 医療の質の向上

(3) 幅広い糖尿病治療により選ばれる病院の構築

主な取組目標	a. 糖尿病教室	取組状況	a. 参加型糖尿病教室を開催した。	自己評価 B
	b. 外来や予防指導の充実		b. 「にしわき糖尿病レター」を発刊し、医師会と連携して療養指導を行っている。	
	c. 糖尿病患者への栄養指導		c. 外来栄養指導の当日依頼を積極的に受け入れている。	
	d. 専門知識を持つスタッフの育成		d. 糖尿病療養指導士を中心に、研修に参加している。	

主な実績	項目		R5年度実績	R6年度目標	R6年度(12月末)	R6年度見込	推進状況
	入院	透析 (件)	1,124	900	643	857	C
	外来	透析 (件)	6,536	6,000	4,770	6,360	B
	栄養指導合計 (件)		1,838	1,900	1,361	1,820	C
	NST介入件数 (件)		874	1,100	695	930	B

2 医療の質の向上

(4) 資格取得などによる医療提供力の強化

主な取組目標	a. 認定看護師教育課程受講	取組状況	a. 認定看護師の受講には至らなかったが、NST専門療法士、DMAT隊員の資格を各1名が取得した。				自己評価
	b. 臨床研修指導医講習受講		b. 内科医1名が講習受講した。				B
主な実績	項目		R5年度実績	R6年度目標	R6年度(12月末)	R6年度見込	推進状況
	資格・認定取得者数	(人)	0	3	1	1	B

3 経営資源の強化

(1) 入院収益の確保

主な取組目標	a. 急性期一般入院料1の維持	取組状況	a. 診療報酬改定により急性期一般入院料1（7対1看護）の重症度、医療・看護必要度の基準を見たせなくなったことから、10月より入院料2（10対1看護）に移行した。	自己評価 B
	b. 大腿骨頸部骨折の救急患者受入れ早期手術の実施（48時間以内） c. 施設基準の取得等		b. 多職種連携によるチーム医療の強化、内科医師による介入など受け入れやすい体制を構築して受入れを促進している。 c. 回復期リハビリテーション病棟（50床）のうち非稼働となっている24床中、4床を稼働させる体制とした。	

主な実績	項目		R5年度実績	R6年度目標	R6年度（12月末）	R6年度見込	推進状況
	1日平均入院患者数	(人)	269.4	279.0	267.9	275.3	B
	病床稼働率	(%)	85.6	87.2	83.7	86.0	
	1人1日入院診療単価	(円)	52,800	55,500	53,589	54,622	B
	入院収益（1月当り）	(億円)	4.34	4.71	4.38	4.57	B

3 経営資源の強化

(2) 外来収益の確保

主な取組目標	a. 救急医療体制の強化	取組状況	a. 開業医訪問、消防との症例検討会開催など連携強化を図ることにより、積極的な救急患者の受入れ・確保に努めている。	自己評価
	b. 造影検査枠の拡充		b. 予約枠を拡充し、より多くの造影検査を実施している。	B
	c. 地域の医療機関との連携強化 (情報共有・情報提供)		c. ・病院の取組みに関する情報提供を行うため、地域の開業医への訪問や広報紙の発行を積極的に行った。 ・内科医が地域の開業医からの診療相談等の電話を直接受ける「内科ホットライン」の運用を進めている。 ・地域の開業医からの患者紹介に対して、迅速に回答書を作成している。	

主な実績	項目		R5年度実績	R6年度目標	R6年度(12月末)	R6年度見込	推進状況
	1日平均外来患者数	(人)	437.9	477.0	423.1	428.3	C
	1人1日外来診療単価	(円)	17,243	17,500	17,302	17,816	A
	外来収益(1月当り)	(億円)	1.53	1.67	1.51	1.55	A

3 経営資源の強化

(3) その他収益の確保

主な取組目標	a. 人間ドック受診枠の運用	取組状況	a. 健診枠を柔軟に活用することで、協会けんぽ健診の増加を図るとともに、健診部の直通電話を設置し、利便性の向上に努めている。	自己評価
	b. オプション検査の追加		<p>【 ジャパンマンモグラフィーサンデーを実施し、日曜日に乳がん検診を実施。 】</p>	B

主な実績	項目		R5年度実績	R6年度目標	R6年度(12月末)	R6年度見込	推進状況
	成人病検診	(人)	1,079	1,100	849	1,140	A
	一泊人間ドック	(人)	36	40	27	39	B
	日帰り人間ドック	(人)	557	590	434	563	B
	脳ドック	(人)	140	150	131	158	A
	乳児・新生児健診	(人)	161	230	96	130	C
	妊婦健診	(人)	1,344	1,800	1,057	1,380	B

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（ア 薬剤業務）

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 薬剤師の入院棟配置 b. 抗がん剤調製の100%実施の維持（休日対応含む。） c. 後発医薬品の採用促進 d. 医薬品情報等の情報提供強化 e. チーム医療 f. 安全管理への取組み 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 病棟薬剤業務は、20時間／週を維持している。配薬セット業務は、継続中である。 b. 抗がん剤調製業務量は、100%実施中。 c. 薬事委員会で後発医薬品への切替えを検討し、順次切替え、後発品の使用割合は、90%台を維持している。 d. 院内LAN等による情報提供、他部門と共催の勉強会等による情報共有化を強化している。持参薬チェックなど、入院前支援業務に取り組んでいる。 e. 各種認定薬剤師が、積極的にチーム医療に取り組んでいる。 f. 配薬管理が必要な患者の持参薬を一手に引き受け、捌くことで医療安全の向上（重複投与防止など）に取り組んでいる。 	自己評価
	B			

主な実績	項目		R5年度実績	R6年度目標	R6年度(12月末)	R6年度見込	推進状況
	ハイリスク指導件数	(件)	5,454	5,500	3,292	4,389	C
	その他指導件数	(件)	5,430	5,500	4,812	6,416	A

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（イ 検査業務）

主な取組目標	a. 人材の確保・育成 b. 各科からの検査要求対応 c. チーム医療への参画	取組状況	a. <ul style="list-style-type: none"> ・細胞検査技師スキルアップ ・各種資格の取得 ・退職予定者からの円滑な業務引継ぎ ・超音波検査担当者の養成 b. <ul style="list-style-type: none"> ・緊急検査への柔軟な対応、迅速な報告 ・休日の大腿骨頸部骨折検査対応 ・迅速細胞診検査への対応 ・超音波検査予約枠の見直し c. <ul style="list-style-type: none"> ・感染管理（ICT・AST）、栄養サポート、糖尿病教育、高齢者サポート、臓器移植等への参画 	自己評価
	B			

主な実績	項目		R5年度実績	R6年度目標	R6年度(12月末)	R6年度見込	推進状況
	超音波検査件数	(件)	8,009	9,000	6,243	8,300	B
	肺機能検査件数	(件)	1,710	1,700	1,398	1,800	A
	脳波検査件数	(件)	163	200	110	145	C
	ABI検査件数	(件)	442	500	315	420	C
	心電図検査件数	(件)	9,279	9,000	7,068	9,400	A

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（ウ 放射線業務）

主な取組目標	a. 3.0テスラMRIの運用 (H26.7月から稼働)	取組状況	a. 紹介患者、救急検査を迅速に受け入れている。撮影プロトコルを見直し、よりよい画像を提供	自己評価
	b. スタッフの育成		b. 診療放射線技師法改定に伴う告示研修に参加をしている。新人技師の育成に努めている。	B

主な実績	項目		R5年度実績	R6年度目標	R6年度(12月末)	R6年度見込	推進状況
		C T	件数 (件)	15,527	16,000	11,526	15,368
	M R I	件数 (件)	5,346	5,000	3,842	5,123	B
	R I	件数 (件)	551	540	403	537	C
	マ ン モ	件数 (件)	1,474	1,450	1,123	1,497	A
	ア ン ギ 才	件数 (件)	275	300	207	276	B
	骨 塩 定 量	件数 (件)	1,324	1,300	1,022	1,363	A
	一 般 撮 影	件数 (件)	23,074	23,500	17,634	23,512	A

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（エ リハビリテーション業務）

主な取組目標	a. 施設基準の維持 b. 充実したリハビリの実施 実施目標 1日1人「18単位」 c. 365日リハビリに向けた体制づくり d. 院内外に向けた啓発活動 e. スタッフの育成	取組状況	a. 地域包括ケア病棟のリハビリ平均2単位以上を維持、回復リハ病棟入院料3を維持 b. R6.11月の平均実施単位数は17.6単位 c. 継続的な入院リハビリ治療を実施 d. 地域支援事業(自立支援型地域ケア、フレイル訪問指導、認知症初期検討委員会等)に参画 e. 診療報酬に影響する資格取得のために、リンパ浮腫複合的治療科実技研修、骨粗鬆マネージャー、腎臓リハビリマネージャー、呼吸療法認定士などの講習会や研修会に参加	自己評価 B
--------	---	------	--	----------------------

主な実績	項目		R5年度実績	R6年度目標	R6年度(12月末)	R6年度見込	推進状況
	脳血管疾患リハ単位数	(単位)	40,046	38,500	29,236	38,981	B
	廃用症候群リハ単位数	(単位)	23,263	22,500	15,029	20,039	C
	運動器リハ単位数	(単位)	28,377	27,500	20,094	26,792	C
	呼吸器リハ単位数	(単位)	8,384	8,300	5,106	6,808	C
	摂食療法リハ単位数	(単位)	1,358	1,300	812	1,083	C
	がん患者リハ単位数	(単位)	163	160	7	10	C

3 経営資源の強化

(5) 地域医療連携への取組

主な取組目標	a. 地域医療支援病院承認要件の維持	取組状況	a. 紹介率向上に向けて、「内科ホットライン」の運用や広報紙の発行などによる情報発信に努めている。	自己評価 A
	b. パスによる連携強化		b. 入院早期から対象者へ、リハビリ病院の情報提供や退院調整を行っている。	
	c. 地域医療機関との連携		c. 当地域において、医療提供の役割を果たすため、前方、後方支援をはじめとした病院と地域をつなぐための体制強化に努めている。開業医、事業所等の訪問による意見交換	
	d. 退院調整の強化		d. 入院前支援を開始したことにより、入退院に関する情報の共有が早期に行えるため、必要な支援につなげることができている。	

主な実績	項目		R5年度実績	R6年度目標	R6年度(12月末)	R6年度見込	推進状況
	紹介率	(%)	81.9	65.0	86.1	86.1	A
逆紹介率	(%)	86.5	70.0	89.3	89.3	A	
入退院支援加算1	(件)	3,071	3,000	2,393	3,191	A	
介護支援連携指導	(件)	371	350	245	327	C	
退院時共同指導	(件)	73	73	61	81	A	

4 職員の確保と意欲向上

(1) 医師確保

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 公募等積極的な募集 b. 病院見学、病院説明会 c. 院内保育所の有効活用 d. 医師事務作業補助者による医師の事務処理の軽減 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 西脇病院の魅力アピール、ホームページによる積極的な医師募集及び医師紹介業者への対応を強化している。 b. 病院見学の実施及びオンラインを活用した病院説明会に参加。 c. これまで利用実績があり、受入れ態勢は整っている。 d. 医師事務作業補助者を採用し、医師の事務処理の軽減を図っている。 	自己評価
	A			

主な実績	項目		R5年度実績	R6年度目標	R6年度(12月末)	R6年度見込	推進状況
	医師	数 (人)	55	56	56	56	A
	研修医	数 (人)	13	12	12	12	A

4 職員の確保と意欲向上

(2) 看護師確保

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 院内保育所の有効活用 b. 修学資金制度の継続実施 c. スキルアップのための研究、研修会への参加支援 d. 確保・離職防止のための改善の検討強化 e. 看護学校へ講師派遣と実習生受入れの充実 f. 中学生のトライやるウィーク及び高校生のインターシップの受入れ 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 院内保育による育児短時間勤務を活用した看護師の早期復帰。 b. 修学資金制度を実施し、看護師等の確保に努めている。 c. 積極的な研修参加の推進と参加支援を継続している。 d. 早出遅出勤務の導入や部署間の応援体制をとっている。 e. 継続して実施している。 f. 新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたが、5年度以降、受入れを再開した。 	自己評価
	C			

主な実績	項目		R5年度実績	R6年度目標	R6年度(12月末)	R6年度見込	推進状況
	奨学資金貸与者数	(人)	8	8	4	4	C
	年度末正規看護職員数	(人)	244	245	235	234	C

4 職員の確保と意欲向上

(3) 職員の意欲の向上

主な 取組 目標	a. 職員満足度アンケートの実施 (年2回)	取組 状況	a. 年2回(6月・12月)実施した。	自己 評価
	b. モチベーションアップチームの活動継続		b. 職員満足度アンケートの実施、その他の活動内容を引き続き検討している。 職員提案に基づき、寄附を活用して車いすを新調した。	<h1 style="color: red;">A</h1>
c. 参加しやすい院内研修	c. 計画的に、感染対策研修会・院内研究発表会等を開催している。 動画配信による研修等も実施している。			
d. 院外研修への参加支援	d. 医療技術職や看護職等、各種研修会への参加を支援している。 新型コロナウイルス感染症の影響によって増加したオンラインによる各種研修会等にも参加している。			
e. 西脇病院フェスタの継続実施	e. 感染症の影響を踏まえ、西脇病院フェスタを中止している。			

5 再編・ネットワーク化

取 組 状 況	・医師の派遣	西脇病院から派遣	西脇病院へ派遣	自己 評価
	多可町内診療所	内科 (H23.2～)	—	
	多可赤十字病院	皮膚科 (H23.1～) 総合診療 (H27.8～H29.8) 外科 (H27.8～H29.7) 内科 (H31.4～) 乳腺外科 (R2.12～) 整形外科 (R3.4～R3.9)	人工透析 (H29.9～ R2.3)	
	加東市民病院	皮膚科 (H23.4～) 内科内視鏡 (H26.4～H31.3) (R4.4～)	血管外科 (H21.4～)	
	県立丹波医療センター	放射線科 (H20～R4.3)	—	
	公立八鹿病院	麻酔科 (H31.4～R3.6)	—	
	公立豊岡病院	麻酔科 (R元.6～)	—	
	北播磨総合医療センター	—	心臓血管外科 (R元. 10～) 超音波内視鏡 (R元. 12～ R3. 6) リウマチ・膠原病内科 (R3. 6～)	
	はりま姫路総合医療センター	—	超音波内視鏡 (R4. 5～)	
	・地域医療連携システム「北はりま絆ネット」の本格運用を継続中			

A